令和3年度第4回川崎市子ども・子育て会議 計画推進部会 議事録

■ 開催日時

令和3年10月1日（金）18時30分～

■ 開催場所

ZOOMによるオンライン会議

■ 出席者

（1）委員

村井部会長、稲富委員、佐藤委員、丹野委員、坪井委員

（2）事務局（こども未来局企画課）

川戸課長、浅水課長補佐、北村担当係長、原田職員、筒井職員

（3）その他関係課

（こども保健福祉課）川本担当係長

（児童家庭支援・虐待対策室）平山担当係長

（幼児教育担当）宮崎担当係長

■ 配布資料

資料1 これまでの取組状況について

資料2 子ども・若者や子育てを取り巻く状況

資料3 計画の基本的な考え方

資料4 各種計画の量の見込みの考え方（案）

参考1 川崎市子ども・子育て会議計画推進部会委員名簿

参考2 川崎市子ども・子育て会議計画推進部会行政出席者名簿

参考3 川崎市子ども・子育て会議条例

参考 川崎市子ども・若者の未来応援プラン

参考 川崎市子ども・若者の未来応援プラン第6章改訂版

参考 川崎市社会的養育推進計画

■ 傍聴者

0人

1 開会

- ・事務局あいさつ
- ・次第、資料、定足数（部会の成立）確認

2 議事1「第2期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」の策定について

（1）これまでの取組状況について

資料 1 に基づいて事務局から概要説明。

《主な質疑等》

- 委員 目標を下回った項目は、主にコロナ関係によるものと認識しているがよろしいか。
- 事務局 新型コロナウイルスの感染拡大の影響によって事業を実施できなかったものが一部あるが、どの取組もオンラインでの開催を進めるなど事業の目標値には達しなかったものの、それに代わる取組を推進してきたところである。

(2) 子ども・若者や子育てを取り巻く状況について

資料 2 に基づいて事務局から概要説明。

《主な質疑等》

- 委員 これは非常に情報量が多い気がするので、優先度が高い項目みたいなものが必要になるのではないか。
- 事務局 必要に応じて今後検討していく。現状としては、川崎市の計画はデータが大分多いところもあり、精査が必要であると感じている。
- 委員 そのような可能性があるとしたら、割愛したものはデータ集みたいな形で別途用意してもいいのではないか。
- 事務局 参考とさせていただく。当課でも様々な場面で子どもの御説明をする機会もあるので、バックデータで管理しておいて、状況によってデータの活用の仕方は幾らでもあると考えている。

(3) 計画の基本的な考え方について

資料 3 に基づいて事務局から概要説明。

《主な質疑等》

- 委員 オンライン、インターネット教育を推進できるような環境構築は、まさに I T 企業がある川崎としては先進的にやってほしい。原案では読み取れなかったので、そういった面を方向性として打ち出していくことは難しいのか。
- 委員 アフターコロナというなかで、この期間に I C T によるコミュニティづくり、I C T による教育環境、オンラインでの授業が続いている実態を見ると、情報活用力がより大きな視点になるかもしれない。
- 事務局 I C T の活用を盛り込むというのは難しいところではあるが、教育の部分については、既に G I G A スクール構想で充実した取組を進めているところなので、教育委員会とも調整しながら、I C

Tないし情報活用能力といった表現ができないかどうか検討してまいりたい。

- 委員 施策の方向性 I の母子保健の取組を記載というのは、どこの部分に当たるか。
- 事務局 「乳幼児期から青年期に至るまで」の4段落目にある、「妊娠・出産期から青年期に至るまで」というところで、「乳幼児期」から「妊娠・出産期」に改めている。
さらに、その後の行で「切れ目のない支援」というところに「細やかな」を付け加えている。母子保健の取組についても総合計画との整合性を取っているところで、総合計画の母子保健では「切れ目のないきめ細やかな支援」という表現になっているので、そちらに表現を合わせている。
- 委員 外国籍の方々への支援をしっかりとっていくみたいなどころのニュアンスはどこかに入っているか。
- 事務局 外国籍の子どもに対する支援は教育委員会の行っている事業がメインの事業になっており、第2期子若プランにおいては、そういった取組の記載はされていないところである。

(4) 各種計画の量の見込み及び確保方策の考え方について

資料4に基づいて事務局から概要説明。

- 委員 算定中という数字はいつ頃確定するのか。
- 事務局 11月にパブリックコメントを実施する予定があるので、その際には算定中の数値を公表する予定としている。
- 委員 そうすると、それまでにもう1回部会としてその数字を見て検証するという場面はあるのか。
- 事務局 総会を11月に開催する予定になっており、そこでお見せすることができるかと考えている。
- 委員 そうするとこちらは総会での取り扱いとなるのか。
- 事務局 今回はあくまでも数値的な部分でなく、量の見込みの考え方の記載内容を御確認いただければという意図でお示しさせていただいている。
- 委員 考え方の記載内容については、この内容でよろしいか。
(異議なし)
新規で追加された事業については、まだ実績もないので、今回示された考え方を踏襲しながらモニタリングするしか方法がないと思われるがどのように考えているか。
- 事務局 一部、既に実は実施している事業もあり、これまでそこは対象外ということで現行プランには整理されているが、国から示されて

いるメニューで既に実施している事業ということもあるなかで、そこは今回検討して、次期プランから新たに追加する項目として記載するというに至った。

- 委 員 今回の基本型の利用者支援事業については、これまでの実績を踏まえて別のところで計画を立てられていたという考え方でよろしいか。
- 事 務 局 利用者支援事業の基本型として位置づけて国庫補助をもらっているわけではないが、実際には市の事業として実施しているところで、そうした実績を踏まえて計画を立てていきたいと考えている。
- 委 員 そうすると、実績があるから、量の見込みについても目途が立つということか。
- 事 務 局 こちらは単位が実施箇所数になっており、現在7区のうち2区で実施している。最終的には各区1か所で実施し合計7か所になる予定である。

■ 閉会

・事務局あいさつ

以上